

向島の催し、ニュースは、愛隣館研修センターへお知らせ下さい。

向島・愛隣館研修センター
ニ ュ ー ス

社会福祉法人イエス団
愛隣館研修センター
〒612 京都市伏見区向島二の丸町151
TEL 075(621)3849
FAX 075(621)1579
発行 平田 義
編集 恵 大一郎

どうぞ!!!月曜学校へ

毎週月曜日、朝10時～11時



ワイワイ!
たのしいな

「センセイ。オハヨウ!」
毎週元気に子どもたちが通
てきてくれる月曜学校も、今
年の四月で八年目を迎えるこ
とになりました。開始当初は、
三歳児が対象でしたが、現在
では、三、四歳児が二十名、
三十名集い、ワイワイガヤガ
ヤ楽しい雰囲気です。
十時から礼拝をして、神様
のお話を聴いた後は、待ちに
待ったお遊びの時間です。
野の百合幼児園の園庭をお
借りしての外遊びや散歩、室

内でのエアトランポリンなど、
思い切り身体を使って楽しむ
日もあれば、ハサミやのりを
使った簡単な工作に一生懸命
取り組むこともあります。ど
の場面でも子どもたちの顔は
生き生きしています。
子どもたちの遊びのひとと
きの他に、併せて月一回、十
時～十一時半まで、乳幼児期
のお子さんをお持ちのお母さ
んを対象に「子育てを考える
会」を開いております。講師
は、世光保育園園長の後宮俊
夫先生。何かと悩み多い子育
てに、何かヒントを与えてく
れるでしょう。
月曜学校、子育てを考える
会、共に皆さんのお越しをお
待ちしています。お気軽にど
うぞ!

お母さまのための 子育てを考える会

〈後宮先生から〉

現代の家族構成は、核家族
中心で、昔に比べ少数の子ど
もを育てるご家庭が多い中、
子育てにおいては、ともすれ
ば過干渉になってしまいがち
です。その結果、甘やかす
過ぎてしまったり、子どもが自
分から考えて行動する意欲を
摘みとってしまったりという
こともあるでしょう。
この『子育てを考える会』
では「しつけ」と「自主性の
尊重」を両立させていくには
どうすればいいのかというこ
とに留意してお話をさせても
らっています。
どうぞ皆さん、お気軽にお
越し下さい。

〈お知らせ〉

現在、子育てを考える会で
は、次の本をテキストにおお
話を進めています。興味のお
ありの方は非どうぞ
「ミスエデュケーション」
子どもをむしばむ早期教育」
デイビッド・エルモンド著、
幾島幸子訳、大日本図書刊行

向島・にっこりフェスティバル

この向島に住む様々な立場の人たち。特に、「障害」を持つものや、お年寄り、困っておられる方々が出会い、交流を深め、その中からお互い励まし合い、手助けの出来るところは、共に助け合っているような「輪」が広がっている。にっこりフェスティバルが、去る六月一四日、愛隣館にて開催されました。(主催「向島・にっこりフェスティバル」実行委員会)

この「フェスティバル」は、昨年十一月に続いて二度目、少しづつ地域の皆さんに知られてきたのではないかなあ、と勝手に思ったりしています。当日は、心配されたお天気、の方もなんとかもってくれて、約三百人の方々が、焼きそばや冷めん、ケーキに綿菓子などのパザール、子ども向け映画など色々なプログラムを楽しんでいって下さいました。

このフェスティバルに寄せる私たちの思いを以下に記し、今後の取り組みに対しての皆様方のご理解をもとめ、あいさつに代えさせて頂きました。ありがとうございます。



〈私たちの思い〉～6/14「向島・にっこりフェスティバル」より

この向島地域には、車イス使用者を始め、様々な「障害」をもった方々が暮らしておられます。しかし、地域のなかで安心して社会生活を営んでいくうえで、様々な「困難」を抱えておられる方がまだまだ多いのが現状です。私たちは、誰もが、たとえ、どんな「障害」をもっていようととも共に助け合って生き生きと暮らしていける街づくりを目指し、そのための拠点となる「生活センター」(仮称)の設置を目標に、様々な活動に取り組んでまいりました。

地域福祉の充実を訴えた「公開連続福祉講座」('91年4月、5月、6月)。「障害」を持って地域で暮らしている方々が楽しみにしている月一回の会食会。昨年11月の大盛況だった「向島・にっこりフェスティバル」等がそうです。そして今回のフェスティバルも、そういった思いの表れといえるでしょう。

このフェスティバルに参加して下さった多くの方々が、私たちの思いを理解して下さり、この向島が誰もにとって生き生きと暮らせる街になるよう、共に歩んでいくことが出来ればと願っています。

これからも様々な形でご協力、ご助言など頂きますよう、宜しく願い申し上げます。

皆様、お忙しい中、このフェスティバルに参加くださり、ご協力頂きましてどうもありがとうございました。

〈向島・にっこりフェスティバル実行委員会〉

センターの活動を支えていただき

どうもありがとうございます

これからもよろしくおねがいたします

1991年度

賛助会会員の皆様

主の御名を賛美します。

一九九一年度の愛隣館研修センター賛助会会員をご紹介させていただきます。なお、献金額は、個人・団体計一二五名の方々からで、合計百二十九万千円でした。どうもありがとうございました。

財政事情は決して楽とはいえませんが、皆様方に支えられ活動を続けることが出来ること大変感謝しております。

今後も、エレベーターの設置や生活センターの設立、食事をはじめ様々な活動の充実を目指し、より一層励んでいきたいと思っております。

今後とも、より一層のご理解・ご支援を頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

会員の方々のお名前を記させていただきます。感謝の印と代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

なお、無記名で献金くださった方のお名前が判らず、書き記すことが出来ませんでした。悪しからずご容赦ください。

《月定会員》

近藤政一・高橋幸子・作野
 叡子・君村千代子・上田圭子
 広瀬悦子・川越由美・安野優
 美・三谷昭子・玉井勝也・谷
 口あさ子・田中春枝・武士田
 富起子・松井知恵・芝田有加
 齊藤友和・渡辺文子・島崎富
 子・栗岡正実・島崎歳子・村
 上知子・中林誠一郎・伊藤明
 赤井英子・福田和信・富士岡
 聖夏・高橋秀幸・金山清孝・
 栗原朗・飯田春宣・南保孝・
 鈴木千絵・酒井一成・下岡一
 夫・愛子・江藤淑子・恵ヒロ
 子・酒井登茂代・松野正信・
 清美・高橋由起・坂田幸作・
 中西勝彦・山本忠義・法子・
 松村新子・松村有希子・福田
 富代子・森弘・石山愛子・藤
 田恭子・西田和可子・木村淳
 子・斎恵子・引原勝美・荒木
 拓美・金子町子・信濃すゑを
 後宮松代・熊本絹江・高矢文
 子・木村はる江・高下恭子・
 林栄子・後藤敏子・
 (六五名 計八万九千九百円)

《年間会員》

小池敬子・棚谷直巳・森孝
 一・宇山進・今井文子・太田
 せつ・水野篤夫・蔵田雅彦・
 神谷幸子・田村早千枝・大谷
 和功・黒多健・大澤宣・木村
 良巳・香川博司・石田正弘・
 近藤孝子・田中芳三・前島宗
 甫・村山盛嗣・山本有紀・千
 葉宣義・兵藤みや子・志賀勉
 滝口宣・高橋雅之・
 尼崎教会・大住世光教会・
 フジの園・神視保育園・京都
 復興教会・一麦保育園・市川
 三本松教会・湧谷教会・友愛
 幼児園・平安教会・京都教会
 水口教会・長岡京教会・
 (三九名・団体
 計二万四千円)

《指定献金 クリスマス献金》

山本忠義・松井知恵・広瀬
 悦子・安野優美・引原ファミ
 リー・神谷幸子・村山盛嗣・
 倉橋剛・小柳玲子・岡崎岳・
 福井達雨・
 新島学園高校・近江兄弟社
 学園高校・河内天美教会・田
 辺地の塩キリスト伝道所・八
 幡ぶどうの木教会・洛陽教会・
 丸太町教会・全同志社キャン
 ドルライトサーブス実行委員
 会・大津教会・八頭教会・
 (二一名・団体
 計二十万八千円)
 [順不同・敬称略]

※お知らせ※

・婦人体操サークル「ナウイ
 音楽に合わせ楽しい体操を！
 肩凝りとストレスの解消に！
 参加者大募集！
 井毎週木曜日午後八時〜九時
 野の百合保育園ホールにて。

・「障害者と第九を」来年
 十月に関西で初めて開かれる
 「障害」者と共に歌う第九コン
 サートを実現しようと、市民
 福祉関係者、合唱指導者らが
 集まり、「今、みんなのいのち
 ち輝け第九コンサート」実行
 委員会が、この程結成され、
 愛隣館一階の野の百合幼児園
 が練習場所の一つに決まりま
 した。目下、合唱に参加する
 「障害」者とボランティアを募
 集しています。

練習は土、日曜の午前と午
 後に予定。

詳しくは実行委員会まで。
 ☎075-1591-7772

ぼくが調べた 向島の歴史

連載 第8回 柏木正行

淀川からの分離

豊臣秀吉の伏見城の築城と、
糜城。城下町としての伏見の
街の盛衰。そうした周辺の時
代の移り変りを、巨椋池の湖
面は静かに映し、そして宿し
ていたに違いありません。秀
吉の一連の築堤工事の結果、
巨椋池は、洪水時における沿
岸住民の不安や苦悩を一層増
しながら、昭和の初期までは
その原形を保っていました。
しかし一九一〇年から始まっ
た淀川の改修工事以後、巨椋
池は淀川から完全に分離され
遊水池としての役割も失われ
たのです。しかし、それ以降
も淀川堤防の水路から逆流し
てきた水がよどみ、汚濁化して
いききました。そして、毎年雨
期になると、池の水がまわり
の田畑にあふれ出て、農作物
に大きな被害をもたらしてい
たと言われています。

前号までのあらすじ

古代、向島の姿は、巨椋池
(おぐらいけ)と呼ばれる巨
大な湖の一部でした。渡来人
による開発によって、段々と
姿を変えた巨椋池は、桂川・
宇治川・木津川との合流地点
ということもあり、水上交通
の要所となり、人や物の中継
地として賑わうようになって
いきました。
さらに、十六世紀の末から
の豊臣秀吉による文禄期の大
土木工事により、その地形を
大きく変貌させたのでした。
京都の貴族たちの動きを牽
制する意味からも、伏見の重

要性を認識していた秀吉は、
その周辺に「太閤堤」と呼ば
れる一連の事業を施し、伏見
の戦略的役割を大きくしてい
つたのでした。しかし戦略的
側面を重視しすぎたあまり、
巨椋池周辺の環境が悪化する
という結果を招きます。
そんな中でも、巨椋池はそ
の畔に住む人々に豊かな自然
の恵みをもたらしてくれたの
でした。巨椋池での主な漁獲
物は、フナ、コイ、ナマズ、
ウナギなどで、衿漁法などユ
ニークな漁法が用いられてい
ました。

さらに、こうした巨椋池の
淀川からの分離は、漁業にも
大きく影響して、改修工事も
では、洪水時の農家の被害と
は裏腹に大豊漁の時もありま
したが、池の汚濁が進行する
にしたがい、漁獲高も年毎に
減少して、周辺の漁民の困窮
の度合いも深まり、ついに転
職の止むなきに至るのです。
こうして、縄文時代から絶え
る事無く営まれてきた巨椋池
沿岸の漁業も、池の死滅化に
ともないその幕を閉じるので
す。

巨椋池の死滅化が進行する
中で、最初の池の全面干拓構
想が企画されたのは、一八九
六年ですが、本格的な干拓運
動が起きているのは、一九一
三年「干拓期成同盟」が組織さ
れてからで、そして大正時代に
なると、干拓事業は一旦はス
ターゲットするのですが、漁業権
の補償問題や財政の都合など
で結局は実現しませんでした。
昭和に入り、干拓を求めると
民運動も広がり、こうした中
で政府は一九三二年、戦時に
おける食糧増産や、軍用地の
確保などと相まって、巨椋池
の全面干拓事業の開始を決定
したのでした。そして翌一九
三三年には、池の干拓工事が
始まり、八年後の一九四一年、
宇治川の左岸を北限とする新
たな耕地が誕生したのでした。

(以下、次号)

トイ作り 向島教室

★自分で作る楽しさを体験
何でもない木切れが自分たちの手で、
おもちゃに変わっていくとき、買った
もので遊ぶだけでは味わえない「何か」
を、子供達は味わうことでしょ。

★こんなものを作ります
たこ、こま、竹馬、竹とんぼ、飛行機、
ヨーヨー、水鉄砲、ゲームなどなど、
いろんな楽しいものを作ります。

★要 項
・日時：毎週火曜日 PM2時～4時 年長幼児、小学1,2,3年
PM3時～5時 小学4,5,6年
・場所：当センター (☎621-3849)
・月謝：4000円 + 材料費…幼～小3は500円
小4～6は1000円
(兄弟割引 + 一人につき500円引き)
・指導：松島洋一
(元中学校美術教諭。現在木の玩具デザインを本業と
する。日本おもちゃ会議会員。日本おもちゃデザイ
ナー協会会員。)
・連絡先：伏見区桃山町伊賀67-1 桃山伊賀団地1-209 ☎621-4088 又は、当センターまで

巨椋池の死滅

干拓始まる